

未来を紡ぐ京都の連携力

「産学」「産産」で輝き増す企業群

N K E

NKE(京都府長岡京市)は中村圭一会長が異業種交流グループ「環

を蓄積するのが目的で、産学連携で培われた技術もSTEPを介して社内共有している。

続けている。同社は京都試作ネットなどはじめさまざまな異業種グループにも参画しているが、この姿勢が産業界での評価も高いものになっている。

ポリエステルヒースなどが大型製品に育ちつつある。ハイブリッド自動車などのブレーキ用補助電源に使用する電気二重層コンデンサー用電解液も軌道に乗った。

立、計量システムで確固たる地位を固めている。

洲崎鑄工

洲崎鑄工(京都市下京区)はオートリール(ケール巻き取り機)、鋳物で誠実なモノづくりに徹底してきた。オートリールにはスプリング式と長尺ケーブルの巻き取りに使う電動式などの種類があり、瀬戸大橋や福岡ドームなど多くの採用実績を誇る。

三洋化成工業

三洋化成工業(京都市東山区)はパフォームスケミカルス(機能化学品)・專業メーカー。ニースとシースを合成したR&Dシステム「ニース指」を駆使、約3000種の製品を開発してきた。

成長を支えるのが独自の研究や分社体制だ。新たにナノテクやバイオテクノロジーなど新規技術獲得に向けて、05年度に京都大学桂キャンパスにサテライトラボラトリーを設置。海外グループ会社でも同ラボを展開する計画。分社制度は営業・研究機能を一つにした社内連携ベンチャー。接着剤や半導体用研磨材などで業容拡大を担っている。

従来は酸化マグネシウムを溶解して蒸着してきしたが、微粒子を焼き固める粉体焼結で複合材料を作り上げた。03年には薄膜研究の新会社である京都薄膜材料研究所を設立、デジタルカメラなどにさまざまなテーマに取り組むほか、学生との合同論文に取り組むなど連携を深めている。

日新電機

日新電機(京都市右京区)のコア事業は配電盤など小型化や高信頼性化

テムで省人化、合理化効率化に寄与している。物流部門はシステム機器で合理化など現場要望に

応えている。さらに、米国、欧州連

合(EU)、アジアなど海外ネットワークを確



資料
研究所